

第8回日本鱗翅学会自然保護セミナー（ご案内）

- 里山の変貌による日本のチョウ類の衰退と保護 -

生物多様性からみた里山環境保全の重要性について、チョウ・ガ類の生息の現状及び実践的な保護活動事例などをまじえて、問題点の整理と今後の方向性を討論します。

主催：日本鱗翅学会自然保護委員会・大阪市立自然史博物館
後援：日本蛾類学会，日本環境動物昆虫学会，(財)大阪みどりのトラスト協会，関西自然保護機構，
(社)大阪自然環境保全協会，NPO 法人日本チョウ類保全協会（順不同）
場所：大阪市立自然史博物館講堂
参加費：無料・事前申込み不要

プログラム：

1日目 10月3日（土）

第1部 日本のチョウとガの生息の現状 13:30～17:30

開会

日本各地のチョウとガの生息の現状

北海道、東北、関東、信越、東海、近畿、中国、四国、九州各地区自然保護委員会

総合討論：コーディネーター 石井 実

懇親会（18:00～ 博物館 講堂前ロビー、有料：事前申込みが必要）

2日目 10月4日（日）

第2部 里山のチョウとガの多様性と保護 10:00～17:00

開会

日本のガ類の多様性と生息の現状 - 地方版レッドデータブックへの掲載状況 - : 間野隆裕

里山における小蛾類の多様性：広渡俊哉

ガ類保護の第一歩としての情報収集：神保宇嗣

里山のガ（カトカラ類）の生息状況と保全の現状：西尾規孝

総合討論：コーディネーター 間野隆裕

昼食休憩 12:05～13:15

基調講演 生物多様性からみた里山環境保全の重要性：石井 実

日本のチョウ類の多様性と生息の現状 - 地方版レッドデータブックへの掲載状況 - 」：藤井 恒

長野県安曇野におけるオオルリシジミの生態と保護：中村寛志

岡山県恩原高原におけるウスイロヒョウモンモドキの生態と保護：難波通孝

大阪府能勢町における里山のチョウ類の保全活動：天満和久

大阪府能勢町におけるギフチョウの生態と保護：森地重博

兵庫県加古川市における里山のチョウ類の保全活動：近藤伸一

総合討論：コーディネーター 藤井 恒

閉会

会場：大阪市立自然史博物館 講堂

大阪市東住吉区長居公園 1-23 電話 06-6697-6221

南側通用口よりお入りください(地図参照)。無料。

会場へのアクセス：

- ・地下鉄御堂筋線「長居(ながい)」駅 南改札口3号出口から東へ約800m
- ・JR 阪和線「長居」駅 東出口から東へ約1km
- ・近鉄南大阪線「矢田」駅 西へ約1.8km
- ・大阪市バス4系統, 24系統, 66系統「長居東」停留所
- ・マイカーの場合, 駐車場はありますが有料です。

会場案内：



お問合せ先：

第8回日本鱗翅学会自然保護セミナー 実行委員長 森地重博
e-mail:papilio-morichi@kcc.zaq.ne.jp

[事務局]
日本鱗翅学会自然保護委員会 石井・広渡・平井
〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 大阪府立大学大学院昆虫学研究室
TEL 072-254-9412 / 9413 FAX 072-254-9413
e-mail:ishii_m@envi.osakafu-u.ac.jp